

事務事業名		結核検診事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				事業区分	担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	成人保健係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 心と体の健康づくりの推進					新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	2 検診(健診)の受診率向上					実施計画事業・一般事業	一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7003	一般	4	1	2	結核検診事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
						任意的事業・義務的事業	義務的事業				
						実施方法	一部委託				
						事業分類	健診・予防事業				
						リーディングプロジェクト	該当なし				
						市長マニフェスト	1-5				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)									
胸部レントゲン撮影により、結核健康診断を行う事業  レントゲン撮影により要精密検査とされた者には、精密検査を受診するよう指導する。			前年の8月～健(検)診実施機関に関わる委託事務等、事前準備 1月～健(検)診日程、会場等の計画立案 4月～健(検)診対象者への受診券発行準備及び発送 5月～翌年の1月まで、集団健(検)診の受診希望者の受付事務及び問診票の発行 6月～3月まで、集団及び個別健(検)診結果票入力及び本人へ結果送付 随時、受診勧奨のため、広報紙(4月1日号から1月1日号まで毎月掲載)やHP、町会班回覧で受診啓発									
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)			
			集団検診日数	日	154	142	137	139				
			実施医療機関数	箇所	61	58	58	56				
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)												
65歳以上の市民 ただし、被雇用者、施設入所者は除く (H22国勢調査より把握)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)			
			65歳以上人口	人	22,870	22,870	22,870	22,870				
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)												
市民の結核感染予防のため、感染者の早期発見と、早期治療につなげる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
			65歳以上の肺がん検診受診者	数	5116	5022	5230	6400				
			結核患者発見数	人	0	0	0	0				
④結果(どのような結果に結びつきますか?)												
多くの市民に検診(検診)を受けてもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
			がん検診受診率	%	20.1	19.7	21.2	29.6	32.5			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2	0	0	24				
	事業費計(A)	千円	2	0	0	24	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			検診等委託料	2	検診等委託料	0	検診等委託料	24	検診等委託料	24
人件費	正規職員従事人数	人	3	2	1	1				
	のべ業務時間	時間	40	40	6	6				
	人件費計(B)	千円	156	158	23	23	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	158	158	23	47	0			

事務事業名	結核検診事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	成人保健係
-------	--------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	結核予防法は、昭和26年4月から施行されたが、当市での開始は不明である。平成19年4月1日結核予防法は廃止になり、結核検診は感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に追加された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	結核の早期発見対策として行われてきた、一律的、集団的な定期健診の患者発見率は極端に低下しており、政策的必要性から不都合になってきたため、平成17年4月1日からは市町村が実施する定期健診の対象を65歳以上として改正され、平成19年4月1日には結核予防法が廃止され、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に改正された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	同時に実施している肺がん検診も含めた、がん検診受診率向上のための受診勧奨のちらしの班回覧を3回実施し、検診受診の重要性を周知啓発した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 結核感染者を早期発見し、適切な治療を図ることにより、感染を防止でき、市民の健康づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 国及び地方公共団体は、結核の予防及び結核患者の適正な医療に努めなければならないと感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定されており、検診は市町村の義務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 改正後の施行令で対象者は、65歳以上と規定されているため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 法改正により高齢者の結核罹患率が高いことから、対象者が65歳以上となったが、肺がん検診と同時に実施しているため、肺がん検診受診率が向上すれば、成果は向上する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 現在も、肺がん検診と同時に実施しているため、連携できる。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 この事業は、健康増進法に基づき、各種がん検診と一緒に実施しており、人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業は、法第53条の2に市町村が実施している定期の健康診断に要する費用は市町村が支弁すると規定されているため、受益者負担の余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	結核患者を発見するための検診であるため、廃止できない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
事業のやり方改善(成果向上の見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	受診環境の検討(健診日程、会場等)を行う。また、町会班回覧や、広報等の媒体を活用する回数を増やし、検診受診の重要性を啓発していく。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
			コスト																						
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					
同時に実施している肺がん検診の受診率向上のため受診勧奨を図る。																									